取扱説明書

DAYTONA corp.
S 77338①/⑧

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

MOTOAIRBAG モトエアバッグ	適応車種	商品NO.
	ライディングギア	77338/77339/77340

■ご使用前に必ずご確認ください■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。
※ モーターサイクルライディングギアとしての安全性を重視して開発されておりますが、転倒時など、外部からの衝撃に対して身体を完全に保護できるものではありません。保護効果のあるウエアやライディングギアと組み合わせて使用し、常に安全運転をお願い致します。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
その他	その他の警告及び注意を告げるものです。	分解禁止	表記の禁止行為を告げるものです。
破裂注意	表記の注意を告げるものです。		

⚠警告

禁止

- オートバイ乗車時専用の保護装置です。オートバイ以外の乗り物や、乗車以外の時は使用しない。
- ベストならびに中のエアバッグや起動ユニット部分の改造、分解はしない。正常に展開しなかったり、誤作動でけがの原因となります。
- 針等の尖ったものや刃物で傷つけたりしない。ピンバッジなど尖った物は取り付けしない。
- 使用済みガスカートリッジを取り付けしたままにしない。
- ガスカートリッジを外したまま使用しない。
- ガスカートリッジの取り付け穴に、指や物を入れたりしない。装置の破損や鋭利な部品によるけがの原因となります。
- 転倒などで損傷した場合は使用しない。点検等が必要な場合は当社「お客様相談窓口」までお問い合わせください。

⚠警告

実施	・MOTOAIRBAG®はジャケットやレインウエアの上に着る。 （MOTOAIRBAG®を内側に着ると展開動作に支障が出ます） ・タンデムライダーが使う場合は必ず誤った使い方をしないよう、説明して使い方に注意します。 ・起動用ケーブルをＤリングにしっかりと取り付ける。 ・０～４５℃の気温で使用する。 ・使用中は火気厳禁。エアバッグが溶けたり、穴が開き正常に作動しない。 ・MOTOAIRBAG®純正の補修部品を使用する。

⚠注意

実施	・保管場所は，高温多湿の場所を避けてください。特に車の中に保管する場合，直射日光があたったり、高温多湿になることがあります。保管場所には十分注意してください。 ・保管する際はハンガーに吊り下げて保管してください。また荷物の下に置かないでください。破損・劣化から守ることができます。 ・幼児の手が届かない場所に設置・保管する。 ・ペットなど動物が触れない場所に設置／保管します。 ・MOTOAIRBAG®純正の補修部品を使用してください。
その他	・次のような場合保護機能は働きません。膨張時のみ保護効果があります。 オートバイと障害物との最初の衝撃。 オートバイとライダーが離れない事故。 ・起動用ケーブルが車両に取り付けられている時のみ作動します。 ・洗濯はベスト部分のみ可能です。ベスト部分からエアバッグ本体を外して洗濯してください。 ・エアバッグ本体は洗ったり、脱水機や乾燥機は使用しないでください。 ・雨で濡れた場合は、乾燥機にはかけず、日の当たらない場所で自然乾燥させてください。
破裂注意	・未使用のガスカートリッジは、破裂などの原因となる恐れがありますので、他のごみと一緒に捨てないでください。 ・使用済みの炭酸ガスボンベ（穴が空き、内部のガスが抜けているもの）は、地域の分別方法に従って捨ててください。

本商品の特徴

- この装置は、起動ユニットとオートバイとの間に取り付けられた起動ケーブルが１５㎏以上の力で引かれると、起動ユニットから起動ケーブルが外れ、起動ユニット内の撃針が炭酸ガスボンベの封板を破りボンベ内の炭酸ガスを気室内へ送気する構造になっています。
- 二輪事故に多い運転者が前側に投げ出される事故に対して、作動までの時間を短くするため、背中側に起動ユニットを装備。また、前側に重量物が無いためライディング時の違和感を軽減します。
- 0.08 秒という短時間でエアバッグが展開し、首、背椎、尾骨部分への衝撃を保護します。
- 別売(開発中)の胸部プロテクター(ホック式取り付けタイプ)が装着可能。
  ※他社製ホック式取り付けタイプの胸部プロテクター(ホンダアクセス社製、ワイズギア社製)の取り付けも可能です。対応商品はお問い合わせください。
- 運転者にもタンデムライダーにも使用できます。

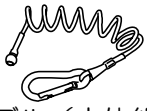
- ベスト部分のみ洗濯が可能です。（ベスト部分からエアバッグ本体を外して洗濯。）
- 衝撃なく作動してしまった場合はリチャージキットを用いて再度使用することが可能です。
- MOTOAIRBAG®はヨーロッパ安全規格 prEN1621/4：2011 認証を有します。

《ヨーロッパ安全規格適合品・CE マークについて》

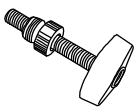
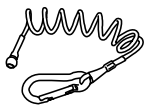
◆CE マークは商品が EU（欧州連合）個人用保護具(PPE)に規定された安全基準 89/686/CEE 及び改定基準を満たすものに付けられる信頼の証。
EU 規定では製造業者が遵守すべき CE 基準が詳細に記されています。CE マークは製造業者が基準を満たす製造現場で商品が製造され、商品がすべての安全基準を満たしていることを保証します。

※日本ではオートバイ乗員用のエアバッグの規格はありません(2012 年現在)。

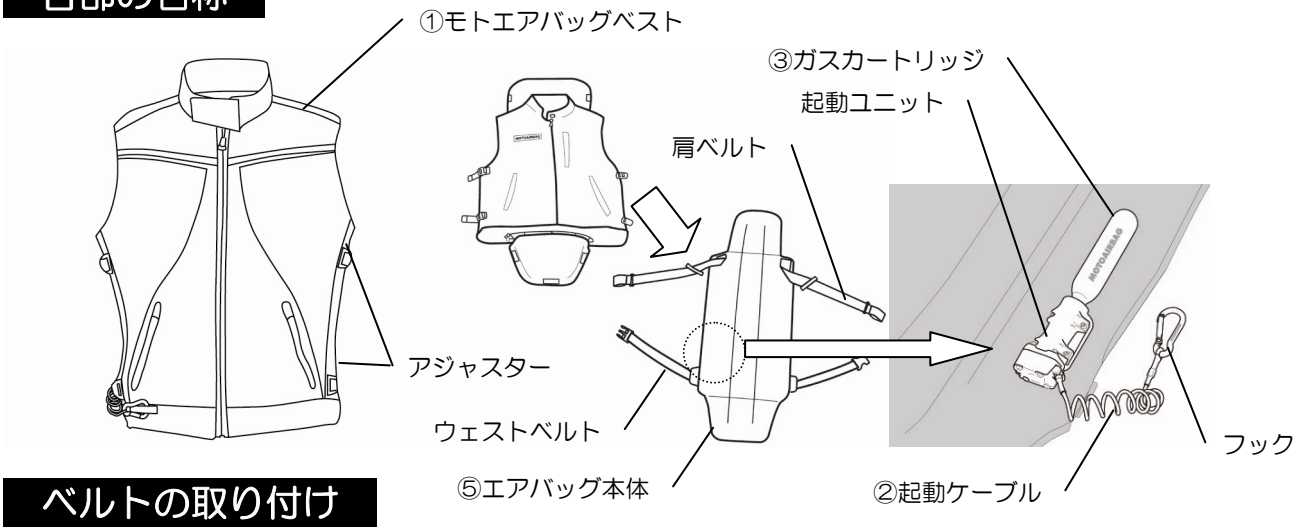
商品内容

NO	パーツ名	数量	NO	パーツ名	数量
①	モトエアバッグベスト	1	③	ガスカートリッジ（本体組付け済）	1
②	ベルト（シート側固定用）	1	④	 起動ケーブル（本体組付け済）	1
⑤	エアバッグ本体（本体組付け済）	1	⑤	バーコードにシリアルナンバーを記載したシールが貼られた黄色いタグ。**保証の際必ず必要です。**	1

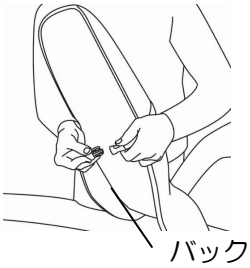
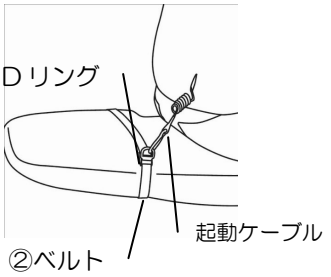
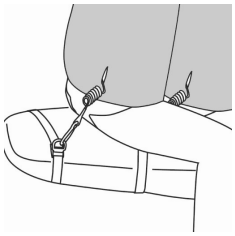
補修品・オプション品

商品名	品番	価格	備考
ベルトキット（シート側固定用）	77342	¥840	複数のオートバイでご使用される場合や、後部座席にも設置したい時などにご購入ください。
リチャージキット	77341	¥2,730	作動後、起動ケーブルを再セットする際に必要なリチャージツールとガスカートリッジのセット。
ガスカートリッジ単体	77344	¥1,890	リチャージツールをお持ちの場合はこのガスカートリッジのみのご購入ください。
リチャージツール	77345	¥1,050	 作動後、起動ケーブルを再セットする際に必要な工具です。
起動ケーブル	77343	¥5,775	 モトエアバッグとオートバイをつなぐコードです。伸ばした時の寸法は 640mm。
胸部プロテクター	―		開発中

各部の名称



ベルトの取り付け

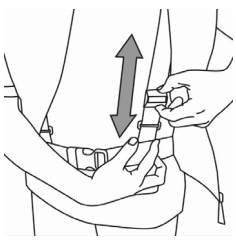
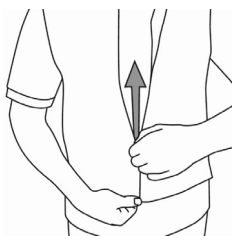
			タンデム用の場合 
1.シートを取り外します。	2.②ベルトをシートに巻き付け、バックルを接続します。	3.着座した時に④起動ケーブルの真後ろの位置にD リング部が取り付くように位置を決め、ベルトを締めつけます。	タンデムライダーの場合も同様に位置を合わせて取り付けます。

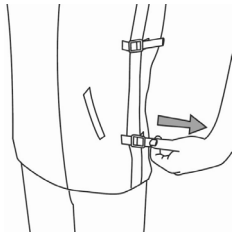
⚠注意

※ベルトの D リング部に上下、左右、前後に力が加わった時に、容易に動いたり外れたりしないよう確認して、しっかり締め付けてください。作動時には 12kg 以上の力で引っ張られます。

※起動ケーブルはフックから起動ユニット部までの長さが最大長で 640mm となります。スッテップに立ち上がった時などに張りすぎたりしないか確認してください。

着用方法

			
1.ジャケット等を着た状態で、一番上にモトエアバッグを着用します。両腕を通した後に、ベスト内側のバックルを接続します。	2.ウェストベルトの長さを調整します。ベルトはエアバッグ本体に固定されています。軽く締め付ける程度に調整します。	3.ウェストベルトに接続されている、肩ベルトの高さを調整します。	4.フロントファスナーを閉じます。

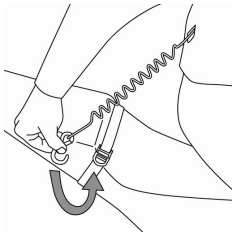


5.脇部と腰部にあるアジャスターを調整します。モトエアバッグの下に着るウエアに合わせて調整してください。

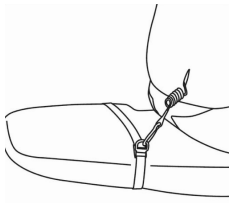
⚠注意

※ジャケット等の一番上(外側)にモトエアバッグを着用してください。レインウエアを着る場合も、レインウエアの上(外側)に着用してください。
※転倒時にエアバッグの位置がずれないように、必ずベルトのバックル、フロントファスナーを締めてご使用ください。
※ベルトはエアバッグ本体に固定されています。エアバッグが膨張した際に締め付けられないように、ベルトの一部がゴム製となっています。そのため、ベルトは締め付け過ぎないように調整してください。

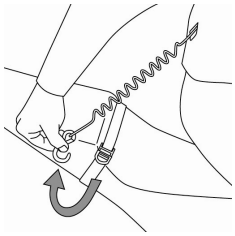
乗車時の使用方法



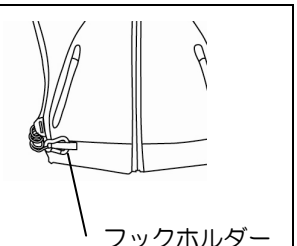
1.バイクに乗車後、起動ケーブルのフックを、シートに取り付けた D リングに掛けてください。



2.確実に掛かっている事を確認してください。



3.降車時は必ずフック外すように心掛けてください。慣れるまでは十分ご注意ください。



4.バイクから降りた後は、ベストのフックホルダーにフックを掛けてください。

⚠注意

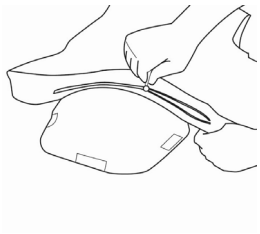
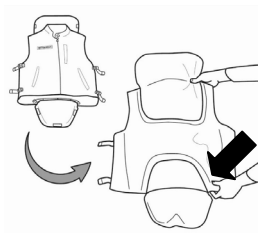
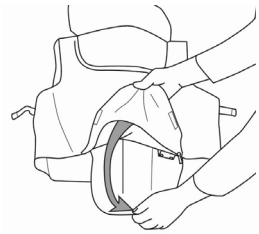
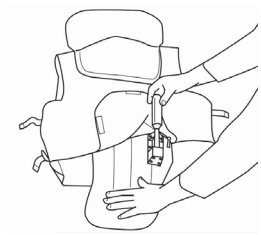
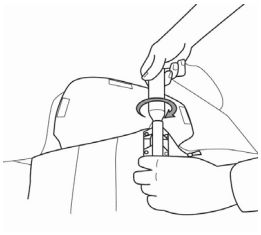
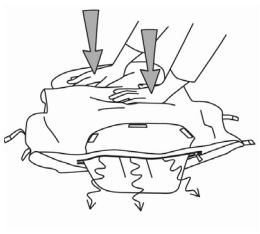
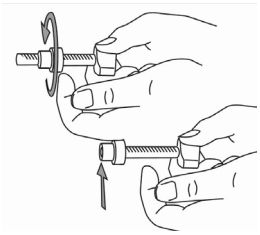
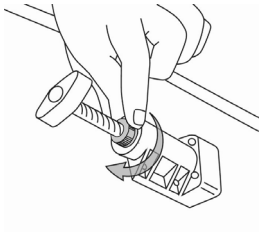
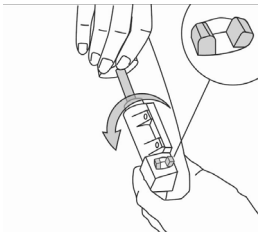
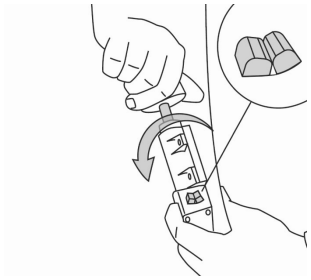
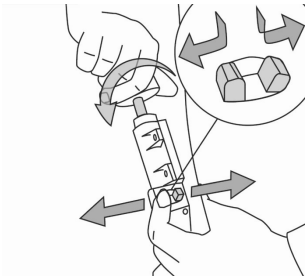
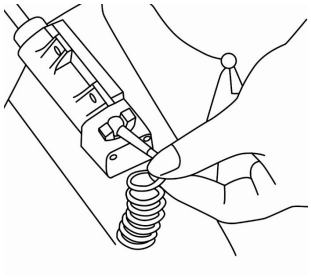
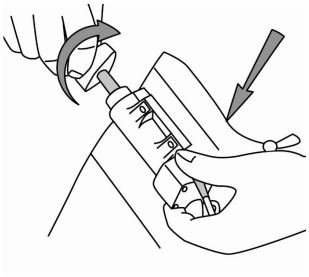
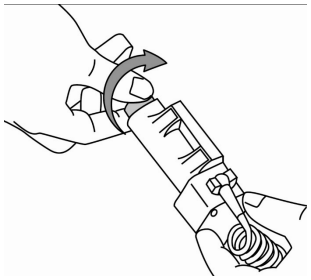
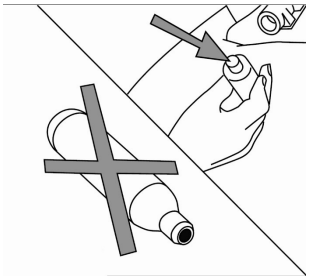
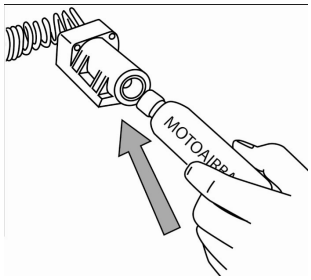
※ベルトの D リング部に上下、左右、前後に力が加わった時に、容易に動いたり外れたりしないよう確認して、しっかり締め付けてください。作動時には 12kg 以上の力で引っ張られます。
※バイク降車時にフックを外し忘れて勢いよく降りた場合や、立ちごけした場合にはエアバッグが作動する場合があります。普通に降りる速さであれば、起動ケーブルで引っ張られるため外し忘れに気が付く事ができます。
※小型のオートバイやスクーターなどでフックを外し忘れて降車した場合、バイク自体が傾たり、倒れたりする場合があります。降車時はゆっくり降りるように心掛けてください。

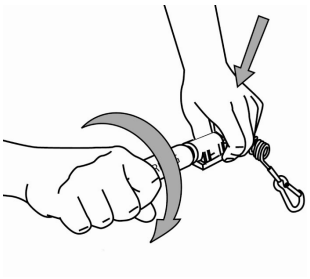
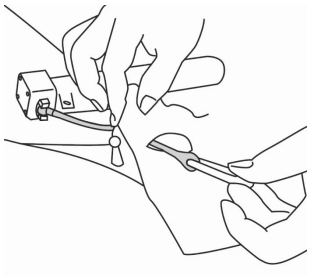
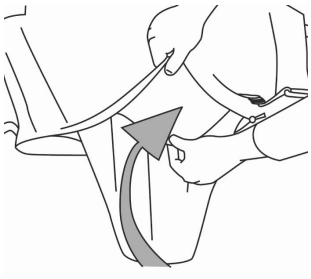
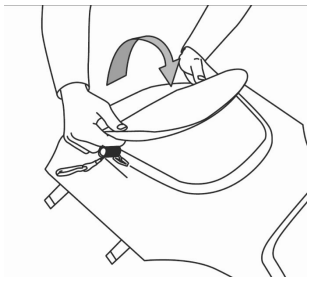
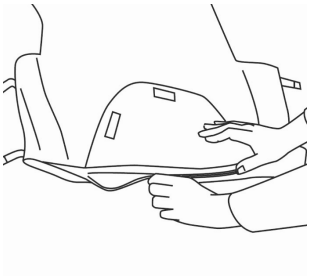
ガスカートリッジの交換

用意するもの

リチャージキット

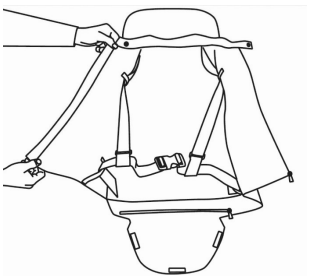
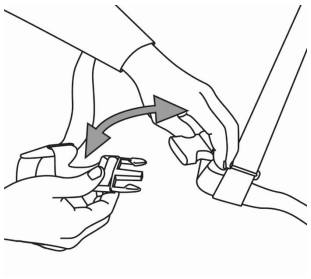
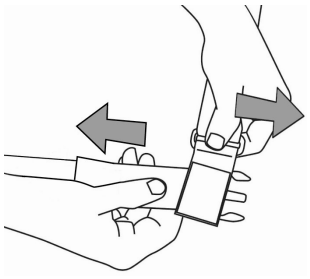
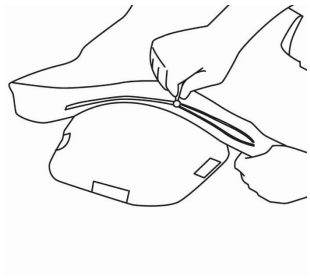
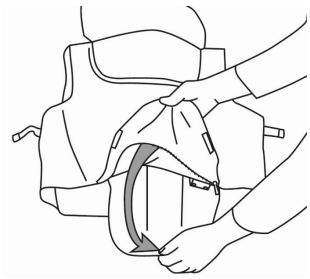
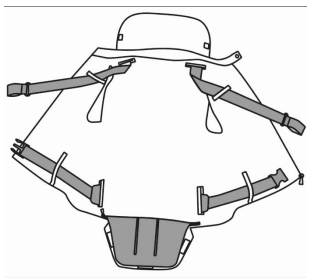
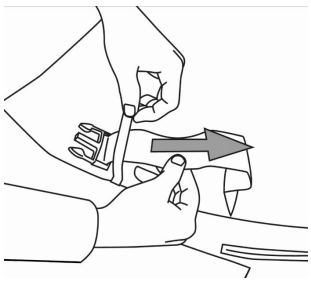
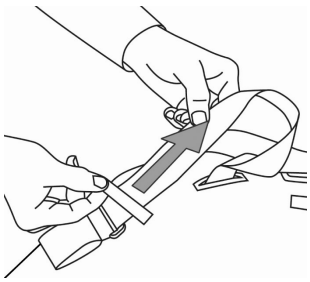
②起動ケーブルが外れてエアバッグが膨張した後に、再度②起動ケーブルをセットするにはリチャージツールが必要になります。
初めて交換する場合は、別売のガスカートリッジとリチャージツールがセットになった（77341）リチャージキットが必要です。
2 回目以降、リチャージツールがある場合は、（77344）ガスカートリッジ単体をご購入ください

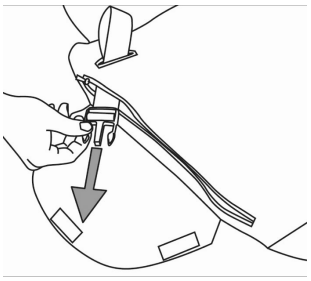
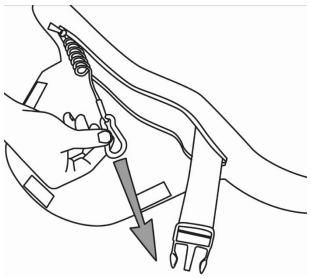
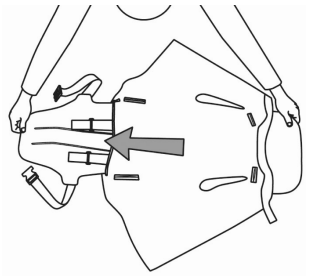
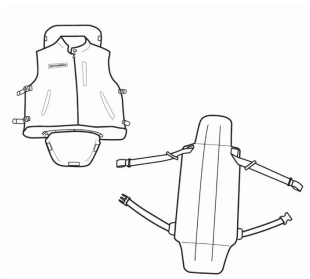
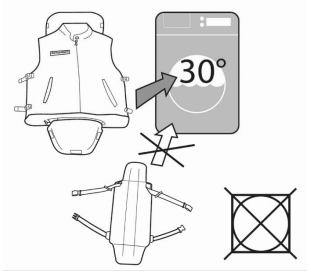
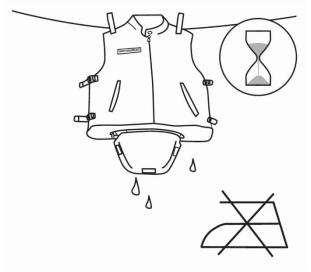
			
1.背中側裾部のファスナーを開く	2.背面を上側にする。起動ユニットは矢印の内側に有ります。	3.ファスナー部からエアバッグ本体の裾部を引き出す。	4.起動ユニットとガスカートリッジが触れる位置まで引き出す。
			
5.ガスカートリッジを矢印方向に回転させ取り外す。使用済みのガスカートリッジは穴が開いていることを確認し廃棄する。	6.手で押して、エアバッグ内に残った空気をエアバッグ本体が平らになるまで抜く。	7.リチャージツールのナットの先端をボルトの先端の位置に合わせる。	8.起動ユニットにナット部をねじ込む。
			
9.ボルト部分矢印方向にをねじ込む。この時、図の爪部分は開いて自由に動く状態です。	10.ボルトを締め込むと爪が閉じてきます。この位置からさらに締め込む。	11.さらに締め込むと徐々に爪が開いてきます。	12.起動ケーブルの先端のボール部分が入るところまで締め込む
			
13.起動ケーブルのボール部分が外れないよう指で軽く押さえて、ボルトが軽く回るまで緩める。	14.起動ケーブルのボール部分が爪に挟まって取れない事を確認し、ナット部分を緩める。	15.未使用のガスカートリッジを準備する。先端に穴が開いていないことを確認する。	16.起動ユニットに未使用ガスカートリッジを取り付ける。

			
17.起動ユニットを手で押さえてガスカートリッジを矢印方向にねじ込み、止まるまで手で軽くねじ込みます。	18. 起動ケーブルをベストの内側から穴に通し、引き出します。	19.エアバッグ本体をベストの中に入れる。頭の先端部まで曲がらずに入っていることを確認し裾の袋部分に差し込む。	20.裾部分を背中側に折り曲げる。
			
21.裾部のファスナーを閉じる。	22.折り曲げた部分の面ファスナーを合わせて貼り付ける。頭部部分も同様に折り曲げて、面ファスナーで固定します。		

エアバッグ本体の外し方

ベスト部分を洗う場合は、エアバッグ本体をベストから取り外す必要があります。

			
1.フロントファスナーを開け、広げる。	2.バックルを取り外す	3.肩ベルトからバックルを抜き取る	4.裾にファスナーを開く。
			
5.袋部分から抜き取る。	6.図の状態にします。	7.ベルト通しから抜く。	8.肩ベルトも抜く。

			
9.裏地の穴からバックル、肩ベルトを通し、裏地の内側に抜き取る。	10、起動ケーブルを裏地の内側に抜き取る。	11.ベストから、エアバッグ本体を抜き取る。引っ掛かりがある場合は無理に引かずに、確認しながら行う。	12.エアバッグを完全に取り出す。
		※ 洗えるのは、ベスト側のみです。手洗いで押し洗い、または洗濯機の場合はつけ置き洗いの弱で洗います。 ※ 漂白剤は使用しない。 ※ 30℃以下の水を使用する。 ※ 直射日光を避け、風通しの良い場所で自然乾燥させる。 ※ アイロンや乾燥機は使用しない。	

仕様について

膨張方式	MAB 特許 CO2 膨張機構
起動システム	ケーブルによるメカニカル起動。
信頼性	全品検査＋全品製造番号による管理
展開時間	80/90 ミリセカンド
保護部位	首、背椎、尾骨
CE 認証	pvEN1621-4：2011　二輪乗員の機械的衝撃に対する保護装身具 第 4 部：二輪乗員の空気注入式保護装身具
衝撃テスト後剰余	1.4ｋN+/−0.1ｋN
膨張継続時間	30 秒、その後ジョジョに収縮
材質	コーデュラ 500＋メッシュ＋反射材
再充填	エアバッグ動作後大きな損傷がない場合リチャージキットで再生可能
総重量	1480ｇ
原産国	イタリア

エアバッグが作動した場合

- 起動ケーブルが 15kg 以上の強い力で外れた時に、バーンという大きな破裂音とともに瞬時にエアバッグが膨張します。
- 膨張後、シューという空気が抜ける音がしますが、異常ではありません。
- 膨張後、30 秒間は仕様の衝撃テストの性能を有します。その後徐々に収縮します。
- エアバッグが膨張している状態ではガスカートリッジを外さないでください。強い圧力が掛かっている場合があります。
- 膨張後は、ガスタンクが圧力の変化で冷たく冷えて、結露することがあります。

株式会社 デイトナ　〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona-mc.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」
0120-60-4955 まで